

## 活動テーマ

## 「もったいない」から始めるリサイクル活動

## 実践事例について

本校は、職業的自立に向けた教育課程に特色があり、作業学習等においてもエコの視点を取り入れている。今年度は、「リサイクル」をテーマに、物の再利用とごみの減量について、実践的な学びを展開した。学校や地域で廃棄される物をリサイクルすることで、資源の有効活用について体験的に学ぶことができた。また、リサイクル活動を契機に、どの生徒も自然環境を守るために今何をすべきなのかを具体的に考えることができた。

## 1 はじめに

三雲養護学校石部分教室は、緑豊かな湖南市にある、県立特別支援学校高等部分教室である。平成25年に石部高等学校の校舎内に開設され、今年で6年目を迎える。

今年度は66名の生徒が在籍し、働く意欲を高め卒業後の企業就労を目指すことや、将来の自立に向けその基礎となる「生きる力」を身につけることを目標に学んでいる。

本校の特徴は、普通科職業コースを設置し、職業教育の中心となる作業学習（農業、食品加工、木工、窯業、布加工、布加工、園芸、メンテナンス）に積極的に取り組んでいる。また、各教科等においても、将来の自立に必要な内容に重点を置いて学習を展開している。

## 2 実践事例

## (1) 堆肥作りを通じたエコ農業

作業学習の農業班(2,3年)、園芸班(1年)では、自然環境に配慮した栽培活動を実践している。

本校の敷地内には多くの樹木が植えられており、秋になると大量の落ち葉が発生する。通常は可燃ごみとして廃棄するが、本校では「エコ堆肥」としてリサイクルしている。農業班、園芸班の生徒が、以下の手順で農作業の合間に堆肥作りに取り組んでいる。

## 〔エコ堆肥作り〕

- ①木材(廃材)を釘で固定し、落ち葉を入れるための堆肥箱を作る。
- ②校内の落ち葉を集める。
- ③落ち葉を堆肥箱に入れる。給食の残菜や農場の廃棄野菜を投入することもある。
- ④ビニールハウス内で保温する。定期的に切り返しを行い、まんべんなく発酵が進むようにする。



今年度から堆肥作りにビニールハウスを活用したことで、発酵が完了するまでの時間を大幅に短縮することができ、農場の土壌改良に役立った。

また、栽培中の除草や害虫駆除は、ほとんど農業に頼らず、生徒が一つひとつ手作業で行うなど、土作り以外でも、環境に配慮した農業を実践している。

手間暇がかかり生産効率は決して良くないが、安心安全な農産物として購入者からは好評を得ている。

## (2) 廃材リサイクル

同じく作業学習の木工班では、地域の製材所から出る廃材を譲り受け、製品づくりを行っている。そのままでは廃棄処分となる木材を一つひとつ丁寧に加工し、新たな製品とすることで、地域の廃棄減量化に貢献している。

木工家具としての完成度もさることながら、地球環境に配慮した製品という付加価値も評価され、今年度は地元企業 2 社のショールームに廃材をリサイクルした家具を展示していただいた。



## (3) エコキャンドル作り

1 年家庭科では、住生活に関する単元の中で、ごみの分別について学習した。廃油のリサイクルとしてエコキャンドル作りを行った。

今回の取組を通して、生徒は、給食で使用した廃油や空き瓶を再利用できること、再利用した分廃棄物の量を減らせることを実感することができた。

作成したキャンドルは、各自の防災袋に入れておき、災害等の非常時に活用することとした。



## (4) エコ活動交流会

1 年間のエコ活動を振り返り、次年度につなぐ

取組として、「エコ活動交流会」を石部分教室全員で実施した。

前半は、各作業班や学年で取組んだエコ活動(今年度は主にリサイクル)について報告し、今年度の成果を全員で共有した。

後半は、「石部分教室わたしのエコ宣言」として、①身の回りの自然環境を守るために毎日の暮らしのなかで取組んでいること、②今年度のエコ活動を通して次年度以降取組みたいことについて意見を交換した。

### 石部分教室 わたしのエコ宣言

(生徒の意見から抜粋)

#### ①今取り組んでいること

- ・ 買い物の時にエコバッグを使っている。
- ・ 買い物の時にレジ袋をもらわないようにしている。
- ・ レジ袋は処分せずに再利用するようにしています。
- ・ 牛乳パックのリサイクルをしています。
- ・ 肉のトレーをスーパーに持っていく。
- ・ 飲み物はペットボトルではなく、水筒に入れる。
- ・ いらなくなった紙でメモ用紙を作っている。
- ・ ごみを道に捨てない。

#### ②次年度取組みたいこと

- ・ ペットボトルのキャップ集めをしたい。
- ・ 牛乳パックを使って小物入れを作りたい。
- ・ エコキャンドルを作ったたくさんの人に紹介したいです。
- ・ もう 1 回エコキャンドルを作って、災害用に寄付したいです。
- ・ ごみの分別をして、清掃活動に参加してみたい。
- ・ 余った保冷剤をリサイクルして、消臭剤を作りたいです。
- ・ 学校のまわりにゴミ拾いが落ちていることがあるので、みんなできれいにしたい。

## 3 今後の課題

今年度は、エコ・スクールに関する初めての取組だったので、当初は「エコ」という抽象的な概念に対して、生徒が見通しを持ちにくかった。

しかし、堆肥作りやエコキャンドル作りなどの体験的な活動を通して、エコ活動は難しいことではなく、自分たちが主役となって取り組める活動であることを生徒自身が実感できたことは大きな収穫であった。2月のエコ活動交流会においては、次年度学校として取り組みたい活動について、生徒が自分たちで考え、たくさんのアイデアを発表することができた。

次年度は、生徒会を母体とするエコ活動委員会を充実させ、活動テーマや活動計画を考える段階から、生徒の主体的な活動を設定していく。また、地域に対して「環境にやさしい石部分教室の作業学習」をアピールし、実際に本校の製品を使っていただくことで、「持続可能な社会」に向けて地域に貢献していく。

学校名	滋賀県立三雲養護学校石部分教室
住所	湖南市丸山二丁目3番1号
電話番号	0748-77-8110
E-mail	mikumo-sh@shiga-ec.ed.jp